

関係者のみなさまへ

日本防災士会・新潟県支部 学校防災教育推進部長 古俣 和博

## 新潟市の中学校で防災学習を実施(地震・津波編)

1回目から1週間後の2回目の防災学習は、「自助」と「共助」の重要性と予測のつかない「地震への備え」と「津波災害」について学習した。

今回は、生徒同士がIpad(GIGAスクール仕様)を使用して意見を出し合いとりまとめて発表するグループワーク形式で実施し中学生に考える力と発表する力を重視した内容とした。

後半の「津波災害」では、東日本大震災での津波映像や全国瞬時警報システム J-ALERT の警報音などを実際の映像や音などを取り入れてリアルで記憶に残りやすい内容とした。

日時:令和4年7月14日(木) 50分授業

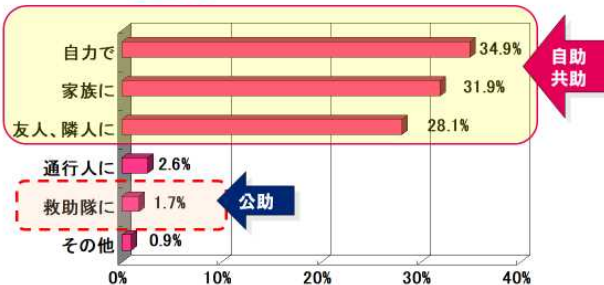
対象:中学校1年生 3クラス

テーマ:「自分の命は自分で守る」(地震・津波編)

講師:クラス講師 防災士3名 アシスタント 防災士4名

阪神・淡路大震災において、神戸市内で生き埋めや閉じ込められた際の救助 ⇒公助はわずか1.7%

全体の95%は地域の方で助け出された。



(出典「(社)日本火災学会:兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」)



## 予測のつかない地震への備え どうする？

出典:首相官邸HP

一般的には大都市で地震が起きると・・・

古いビルが崩れたり  
落下物が発生します！



電話がつながり  
にくくなります！



道路が  
通れなくなります！



電車が  
動かなくなります！



電気・ガス・水道が  
使えなくなります！

